

PACシール認定仕様書

国土交通大臣認定

認定番号 PS060WL-0363 (壁)

関西パテ化工株式会社

# 認定書

国住指第 119 号

平成 19 年 6 月 15 日

関西パテ化工株式会社  
代表取締役 川上 好光 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

PS060WL-0363

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

ケーブル・電線管／けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添のとおり

（注意） この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

ケーブル・電線管／けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材充てん／  
壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

## 2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目		申 請 仕 様
開口部	形状	円形：φ210mm以下
	面積	0.035m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対するケーブル・電線管の断面積の総合計の割合)		33.4%以下
貫通する壁の構造等		A L Cパネル又は鉄筋コンクリート 厚さ100mm以上

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2及びケーブル・電線管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の構成材料

項目	申請仕様		
耐熱シール材	材料	けい酸ナトリウム系混入水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウム材	
	密度	1.35±0.1g/cm <sup>3</sup>	
	組成 (質量%)	難燃材	76.8以上
		(水酸化マグネシウム・水酸化アルミニウムの金属水和物)	
		無機質バインダー(けい酸ナトリウム系)	8以下
		繊維類(ガラス繊維)	2
	その他(分散剤、着色剤、膨張剤及び安定剤)	13.2	
総発熱量	48MJ/m <sup>2</sup> 以下		
充てん量	隙間が無いよう密に充てん(隙間の奥行き100mm以上)		

表3 ケーブル・電線管の構成材料

項目	申請仕様			
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	100mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)		
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材料		
	絶縁体	架橋ポリエチレン系	厚さ	2.5mm以下
		塩化ビニル系		2.5mm以下
	介在(円形に調整する充てん材)	紙、ジュート又はポリプロピレン		
	シース	ポリエチレン系	厚さ	2.9mm以下
塩化ビニル系		2.9mm以下		
電線管	材料	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411)		
	呼び方	PF管		
	外径	φ45.5mm以下		

4. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1に示す。

単位 mm

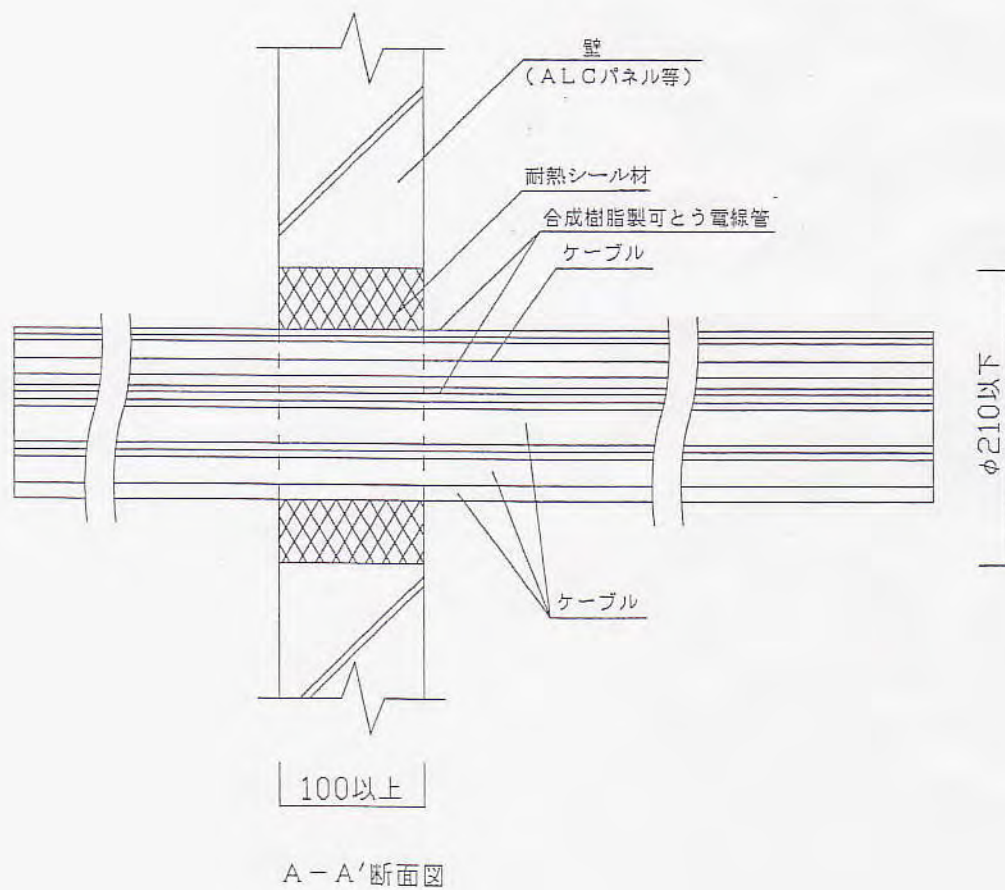
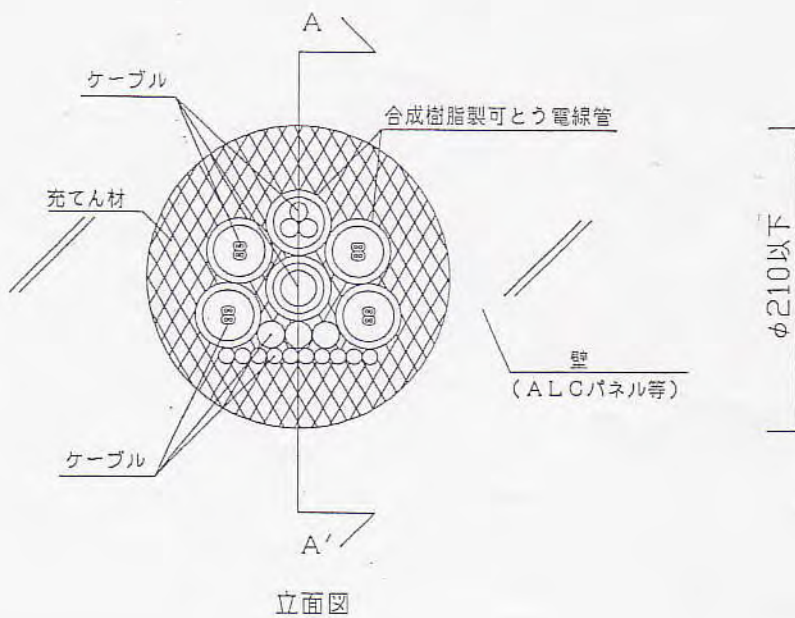


図1 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図2に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認及び清掃

開口面積、ケーブル占積率及び壁厚等が申請仕様に適合しているかどうかを確認する。  
さらにケーブルに付着した汚れ等がある場合、あらかじめウエス等で除去する。

(2) 耐熱シール材の充てん

開口部内の合成樹脂製可とう電線管及び電線ケーブルの間に、耐熱シール材を壁と同じ厚さに隙間なく密に充てんする。

(3) 最終チェック

ひびわれ、充てんムラ等の異状をチェックする。

単位 mm

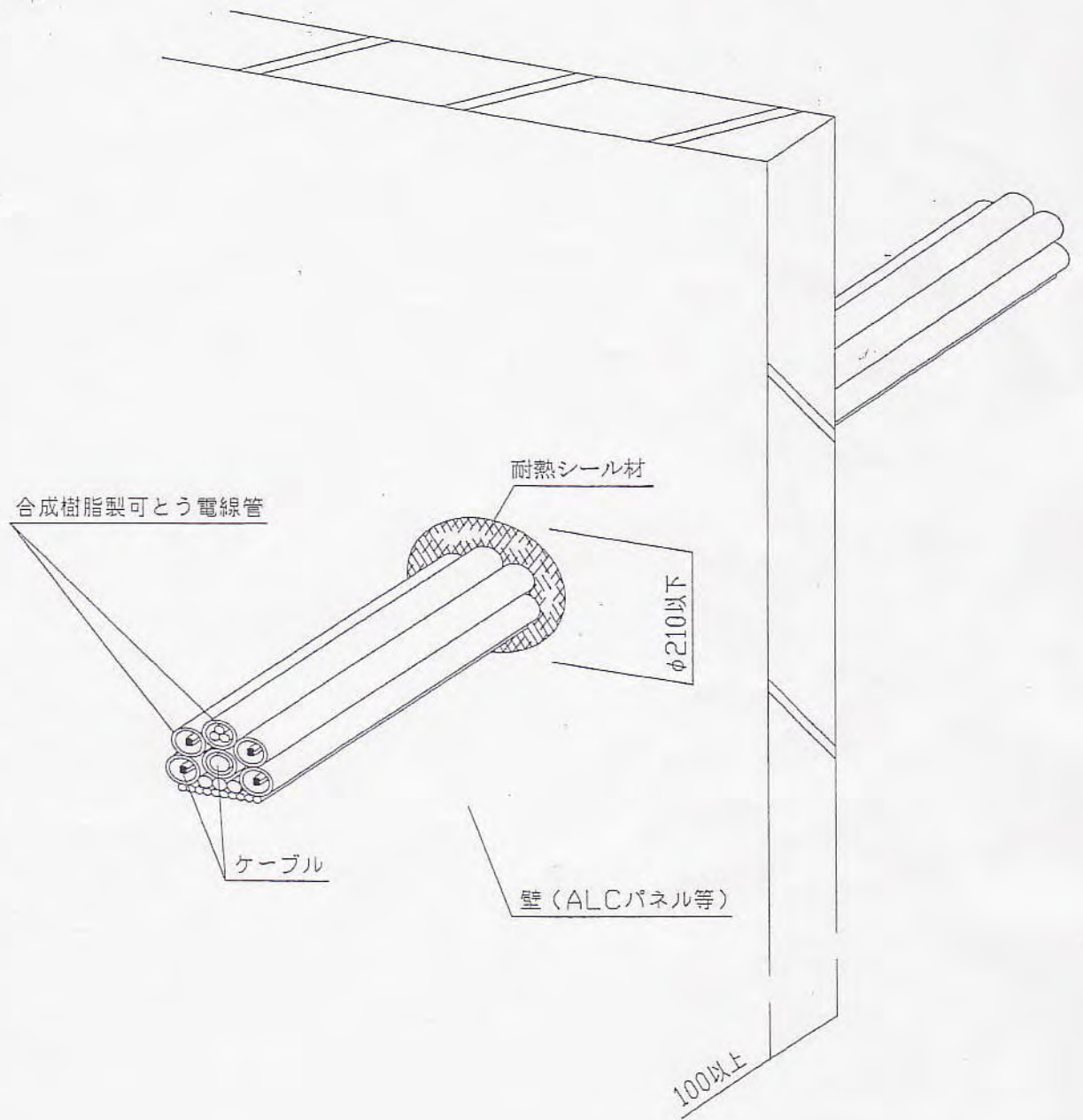


図2 施工図